

# 質問 带状疱疹の予防接種の必要性は

町長

今後、国の動向に注視していく



糸原 文昭 議員

**質問** 带状疱疹の予防接種が認められているが、この予防接種の必要性は。

町長 特に、高齢者が重症化しやすいことから、接種の必要性は感じている。

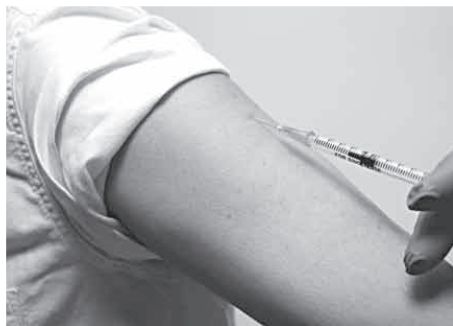
国において定期接種について審議中であることから、助成する考えはない。

**質問** 令和4年度から、厚生労働省は中学生女子を対象に積極的に子宮頸がんワクチン接種を開始するが、どう広報し、対応するのか。

**質問** 鳥取県日野町では、50歳以上を対象に带状疱疹ワクチンの接種の助成が開始された。本町のワクチン接種の助成は。

健康福祉課長 現在のこのワクチンは任意の予防接種の対象で、

健康福祉課長 13歳と16歳には個別通知の送付を行い、学校と連携を図る。平成9年度から17年度生まれで、過去に子宮頸がんワクチンを3



带状疱疹ワクチン接種 (イメージ写真)

回受けていない対象者へは、広報等で周知する。

**質問** 高齢者では、肺炎球菌による肺炎を予防することが重

要であり、肺炎球菌ワクチンの予防接種の状況は。

健康福祉課長 令和3年度の全対象者724人中、接種者

## 消防団の装備の拡充について

**質問** 第一線で活動をする消防団の装備の拡充は。

町長 消防団員の活動に即し、必要性の高いものから計画的に整備する。

**質問** 寄贈消防車の装備品のAEDを更

新しなかった理由は、総務課長 導入以来、使用がなかったのが大きな理由である。

**要望** 火災対応から土砂災害や震災等の対応をするための装備が必要と思うが。

**要望** 災害の最前線に向かう消防ポンプ自動車へAEDの積載を検討されたい。

町長 今後早急に検討する。

総務課長 消防団は、将来像を見据えた研究、議論を長期的展望に立ち取り進む段階にきている。

**質問** 今年度から、市町村防災行政無線が整備されるが、移動系の無線整備は行

は174人で接種率は24・0%。そのうち65歳の対象者は187人で接種率は81人と接種率43・3%であった。

われない。消防団の車両と災害現場との無線整備は必要だが、

総務課長 現在のところ、衛星を活用した電話、あるいは無線を検討している。



AEDと防災行政無線移動系無線機